

## USBメモリの取り扱い

USBメモリに保存されているデータが壊れてしまう原因として、もっとも多いものが、書き込み中の取り外しです。

データの書き込みを実行した瞬間にすべての書き込みが終わるわけではないし、「コピーしています」などのダイアログが消えても、USBメモリへの書き込みは継続されている場合がある。Windowsには、「遅延書き込み」という機能が備わっておりデータを保存する際に、一度PCのメモリ上にデータを保持し、その後改めてドライブに書き込むという作業が行われる。